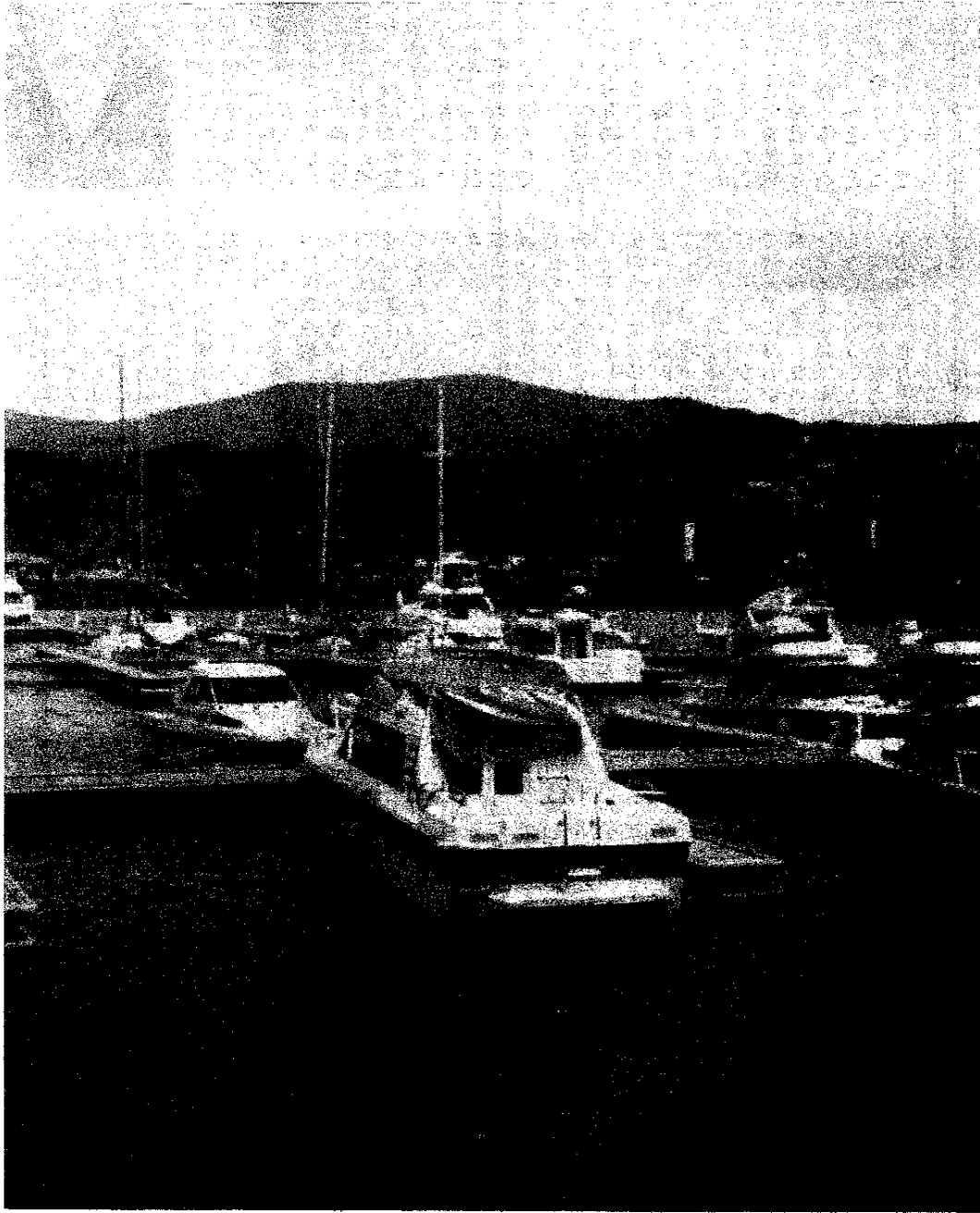


# 西別院だより



浄土真宗のご開山親鸞聖人のご誕生は5月21日です みんなでお祝いしましょう

## 慶祝降誕会

- |                      |        |                               |
|----------------------|--------|-------------------------------|
| 5月20日(火)             | 9時～12時 | 小樽双葉高校参拝                      |
| 21日(月)               | 10時    | 小樽幼稚園・新光保育園・若竹保育所参拝           |
| 〃                    | 12時30分 | 稚児行列(庭儀)                      |
| 〃                    | 1時より   | 降誕会法要・初参式・法話                  |
| 20日(月)               | 11時より  | 寄贈品セール・20日・21日 書道・華道展・お茶会・バザー |
| 20日(月)・21日(火)・22日(水) |        | 月忌休み                          |

# 降誕会にあたって

輪 一番 山田 博道



親鸞聖人がご誕生になったのは、今年より八百十八年前の承安三年(一一七三)四月一日(新暦五月二十一日)、京都日野の里で、藤原氏の一門として誕生されました。その誕生の由緒地としての誕生院は、昭和四十八年のご誕生八百年を記念して、さらに境内が拡張整理されました。降誕会として現在のように盛大にお祝いするようになったのは、明治七年(一八七四年)に明如上人が本願寺の御影堂で勤められたのが、その始まりです。

けれども親鸞聖人ご自身は、自分には仏の生れかわりとして浄土から生れ来て、浄土真宗を開いたというようないばかりか、反対にも云っておられないばかりか、反対に人間の本質を包み隠さず厳しく懺悔して、無懺無愧のお恥しい「愚禿親鸞」でございますと告白されています。

幼児(生後百日乃至三才まで)が、自分のお寺の阿彌陀如来様に初めてお参りする式を初参式といっています。両親や祖父母につれられて佛さまに初めてお参りをし、赤ちゃんや幼児はその時は記憶はないでしょうが、親の言葉や写真を通して、物心のついた時、聞かせ頂いて、いのちの尊さにめざめ、人と生れた意義を知らせて頂く大切な行事

## 初参式Q&A

◎「初参式」とは何ですか。

①「初参式」とは、新しく誕生されたお子さんが、初めて阿彌陀如来様にお参りする式であるとともに、御家族一同が新しい「生命」の誕生を心から喜び、人間に生まれた尊さを知る「仏の子」として、大切に育てさせていただきますと、阿彌陀如来様にお誓いする式でもあります。

◎「初参式」の服装はどのようにしたらよいのですか。

② 特別にきまりはありませんが季節に合わせた、その時にふさわしい服が良いと思います。お念珠は忘れずにお持ち下さい。以上簡単に「初参式」についてお答えいたしました。浄土真宗は「聞く宗教」といわれています。生涯にわたり、仏法を聴聞し続け、人間として生まれた尊さに目覚めなくてはなりません。

我が子のために、人間として生を受けた尊さと喜びを教え、これからの人生の苦しみを乗り越えることのできる、「お念仏」の薫る明るい家庭生活をおくって下さい。神社などに初参りをして、「元気に育ちますように」「幸せになりますように」と祈願するのは、元気が育ちますようにと、親自身が決心を依り所として強く明るく生きぬきます」と心を新にすることであり

ところで、「降誕」という言葉は、字典には「神仏または非凡の人・高僧などが、この世に生るるをいう」と説明されており、降は登に對する字で、上より下ること、すなわち人間の世界よりも高く浄らかな世界から、悩み多き濁った世界にくだつて来られたことを意味しています。それでは、堪忍土といわれる人間界よりも高く浄らかな世界とは、どんな世界かといえ、それはみ仏の国であり、お浄土と呼んでいる世界なのです。ですから「降誕」とは、迷える人々を救うために、仏の国お浄土からこの人間世界に生まれて、仏の教え、なかでもお念仏の教えを伝えるためにお生れになったんだと、仏・菩薩の応化身と仰ぎ、お敬まい申し上げているのです。

た従来のお教えのように、「私より仏へ」と、私が仏を求めて行くのではなくして、反対に常に仏に逆いて逃げていた私を、逃ぐるものを追わへ抱き取らずにはおかぬと能動して下さるみ仏のお慈悲を喜び、弟子一人も持たず、共に御同朋御同行と、男も女も、罪の重いも差別なしに、在家のまま私のおついて行ける救いの道一人間としての浄土真宗を明らかにして下さいました。ここに始めて仏の大悲は「仏より衆生(私)へ」という他力廻向(一仏よりのご廻向)の道理が開示されたのです。宗祖聖人のご誕生が無かつたならば、み仏のいかなる者をも無条件で救わずにはおかぬという本意は明らかにならないばかりか、それはそのままだけに永久に迷わねばならないということになります。親鸞聖人の教えの有難さは、阿彌陀如来の他力廻向の心がお赤裸々に顕わされ、このお恥しい私が仏にしていただけ道を教えて下さったことでもあります。

お釈迦様は、人間に生まれる事の難しさを多くのたとえでお説きになつておられます。しかし、人間に生まれることも難しいが、人間として生きるといふことも難しいのであると説かれておられます。「子供は親の背中を見て育つ」と、申しますが、子供の目というものは厳しいものがあります。子供の心は親の心を敏感に感ずるもの

まずは、御家族の皆様が必ずお仏壇の前に座り、お参りをしましょう。そのような姿を皆様が続けられる中で、心がやさしい、素直

電話で聞く 3分法話

小樽別院テレホン法話

27-1616

毎週日曜日

## 暖かな春の一日を押し入や戸棚の整理日にして、物のいのちを生かすリサーチ活動を!!

我が家では必要のなくなったもの、頂きもので眠っている食器や衣料品がありましたら、別院仏婦の地区役員の方へお知らせ下さい。又、近所の方に、降誕会バザーやセールの宣伝もお忘れなく、降誕会に多数のご参拝、ご参加をお待ちしています。

昨年から降誕会に各家庭に呼びかけて不用品を持ちより、いわばリサイクル運動として、お参りの方に買い取って頂いて、その益金を

を福祉事業へのターナ(献金)や活動費の一部とされております。ターナとはインドのことばで布施ということ。温い心と物を施し、やさしい顔、ほほえみ、思いやりのある言葉、自身の身体の奉仕も又、尊いターナです。

### お知らせ

今般当別院にFAXを設置致しましたので、どうぞご利用下さい

## お斎は仏事のあとときの宴会か？

ハツタイ(糗)粉の匂になると、思い出されることがあります。いまは亡き大西良慶老和上の昔話です。法相宗という奈良仏教らしいの宗門に明治・大正・昭和を生きて、百歳を越えてなお現役で法話をしておられました。

その和上のものに、半年がかりの仕事でうかがいお話を承っていました。その中でとりわけハツタイ粉の話はおもしろいものでした。

和上が小僧時代、もつともこたえたのは、夜の空腹だったといえます。当時、法相宗のお寺は「比丘」さんを中心として、きつちり仏教の戒律をまもる生活がつづいていたから、お寺では朝と昼の二回しか食事が出ないので、困ったのは育ちざかりの小僧さんでした。それで、ひそかにハツタイ湯を撰

ますようお知らせ申し上げます。  
FAX(01134)2914080  
TEL(01134)2110744  
以上

## 花まつり記念行事

五月十一日(土) 夕方六時三十分  
於・小樽市民会館大ホール  
講題 「究極の選択」  
講師 仏教思想家 ひろさちや氏  
主催 小樽仏教会・小樽仏教鑽仰会

年回法要などの仏事で会食することを「お斎」と呼びます。右のような戒律のない真宗でも、そう呼びならわされてきました。

それは、宗祖のお徳をしのぶ報恩講にしろ、亡き人やご先祖の法要にしろ、おつとめのあとの会食ではなく、会食も仏事のうち、という気持のあらわれでした。お斎をふくめて仏事のあいだ、お仏壇を安置した仏間は「ちいさなお寺」というけじめです。

いま、年回法要などのお斎を、精進料理で通すことはむづかしくなりました。また、家屋の構造上、法事のあと、お斎は近くの料亭などに席を移さねばならない、という場面も出てきました。

形が変わると、どうしても心構えも変わりがちです。仏間を離れて「仏事のあとの宴会」にならないうように気をつけたいのです。

●今日のように豊かな日本では、お斎もやたらと派手になりがちです。食事の中心より、仏事の中心がたいせつです。

## お盆まいり

予告!!  
毎年八月十三日から四日間でおまいりしていたお檀家のお参りは、昨年(平成元年)から少し早めて

八月 七日から  
十二日までの

六日間に全戸をお参りします。  
十三日から十六日まで  
は職員全員納骨堂の読経をいたします。

## 月忌参り休み

八月七日〜十七日  
平成元年からのお盆ま  
いりは右記のように改め  
ましたのでご協力下さい。  
小樽西別院

## 別院人事

○浅野参勤三月三十一日付退職  
○齊藤参勤・新光説教所主任  
○村上参勤・奥沢説教所主任

製造直販の店  
仏壇・仏具・お宮・神具  
**片桐仏壇店**  
小樽市入舟4丁目5番入舟大通り  
TEL(0134)23-1309代

全葬儀 全霊協 加盟店  
**小樽典礼株**  
TEL27-1801  
稲穂3-4-1

生花を使って花祭壇  
**札樽葬祭株**  
TEL 34-0444  
ワカマツ1-17-3  
花の店 **カトリア(有)**  
TEL 23-6487  
奥沢1-17-3

総合割烹・総合結婚式場  
小樽の味・割烹の味  
**和楽荘**  
小樽市花園2丁目(公園通り)  
☎(0134)23-6171  
支店 和楽レストラン ニュー豊楽  
南樽駅下 ☎(0134)23-7561  
外商部 各種御会合に 割烹の味をお届け致します。  
☎(0134)32-8757

母のつとめ 思い出ださば 法聞きて、み名称う身となり給えかし 二条 弘子

季刊 第二十一号 発行者 本願寺 小樽別院 発行人 山田博道 印刷所 藤野印刷

## ご案内

小樽別院 ☎0134-22-0744

お晨朝 毎朝6時30分

### 常例布教

毎月7日-11日 巡回布教使  
13日-16日 //

### 仏教青年会

毎月2,3回開催 午後4時より

### 仏教婦人会

毎月27日正午(おとぎあり)

### 仏教壮年会

毎月6日午後7時

### アソカ会

毎月1回

16日午後2時

### 日曜学校

毎月最終日曜日、8時30分

### カブ・スカウト

毎月第2・4土曜日 午後2時より

### ボーイ・スカウト

活動中

### おつとめ教室

最終土曜日 3時~4時  
(期間4月~11月迄)

### 十九日講

奥沢会館 19日正午より

### 各説教所の案内

- 緑説教所  
無量講9日午後6時より
- 若竹説教所  
彰心会7日午後7時より
- 奥沢説教所  
樹心会5日午後7時より  
唯信講10日正午より
- 新光説教所  
法友会13日午後6時より

## 小樽別院ボーイスカウト 募集中

☆ボーイスカウト(小6~中3年迄)

☆カズスカウト(小2~小5年迄)

○毎月第2、第4土曜日

2時より4時迄

○費用は、かかりません。

○学業のさまたげにはなりません。

### ※活動内容

この活動を通して、現代社会に於いて欠けるといわれる子供たちの精神力(心の問題)と、体力を育成して行く事を目標としています。

是非御参加下さいませよう御案内申し上げます。

集まりは、緑の羽根、市民まつり、道路公園の掃除などの奉仕活動、ピクニック家族といっしょのカブのオールスター戦(ソフトボール大会)各種施設の見学、カブのキャンプ、いも堀り収穫祭、クリスマス集会、新年集会、デンマザーを中心とした組集会、カブラリー8月予定(カブスカウトの北海道大会)別院行事の参加など楽しい活動がいっぱいです。

お問い合わせは小樽別院の大島・岡本迄連絡ください。

TEL22-0744

## 小樽別院日曜学校募集中

○小学1年生~6年生迄

○毎月最終日曜日

「日曜学校は、子供のもつ美しい心を養い、引き伸して、ひとりの時の行為をつつしみ、感謝の心をもった円満な人格を作り、幸福な人生を進ませたいという願いから開設している心の教育をする所であります。子供さんの幸福を念ぜられる皆様方のお子さんの入会をおまちしております」

お問い合わせは小樽別院の谷まで御連絡ください。

TEL22-0744

### 1991年 年 回 表 (平成3年度)

|        |        |        |        |        |        |        |       |       |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|
| 50     | 33     | 27     | 23     | 17     | 13     | 7      | 3     | 1     |
| 回      | 回      | 回      | 回      | 回      | 回      | 回      | 回     | 周     |
| 忌      | 忌      | 忌      | 忌      | 忌      | 忌      | 忌      | 忌     | 忌     |
| 昭和17年亡 | 昭和34年亡 | 昭和40年亡 | 昭和44年亡 | 昭和50年亡 | 昭和54年亡 | 昭和60年亡 | 平成元年亡 | 平成二年亡 |

### 明日を開く

日曜仏教講座

一親鸞聖人の生き方に学ぶ一

毎月第1・第3日曜日 午前9時30分~10時30分